

地域の活動について

茨城県立日立第一高等学校附属中学校

三年

伊藤

藍翔

僕は、ある日、貴重な体験をしました。そ

れは、部活引退後に体力の衰えを防ぐため、

後輩と近くの海までランニングに行、たとき

のことでした。海へ行、たあと、後輩と浜辺

で遊んでいたとき、一人の男性から話しかけ

られました。その男性は、幼稚園の関係者の

方だったようで、幼稚園の行事の一環として

浜辺でイベントをするから準備を手伝ってく

れないかとのことでした。特に断る理由もな

く、むしろいい運動の機会になると思、て快

く了承しました。その後、しばらく手伝いを

したあと、その男性が車で自宅近くまで送っ

てくださいました。その時の経験をもてに、

僕は地域の繋がりについて三つのことも考え

ました。

一つ目は、地域の繋がりは日々の暮らしを

彩るものであるということです。実際に、自

分がこの体験をしたとき、自分はかなり充実感を感じました。同様に、近所の方と会ったときに挨拶をする、登下校中に地域の掃除をしてくださってる方を見つけた。たことは、日々の生活の中で基本となっており、もしこのようなことがなかったら寂しい思いをするでしょう。

2つ目は、人の手助けをするときにも良いいことがあるということです。「情けは人のためならず」という言葉がある通り、当たり前

前のことですが、他の人を助けたときには自分にも必ず利益があります。今回の体験で僕は、「運動をすることができたこと」「手伝ったことに対し感謝されたこと」「関係者の方と楽しく、充実した時間を過ごせたこと」などが自分の利益として得られました。このようなことから、地域での助け合いは、双方にとって多様な利益があると考えました。

3つ目は、助けを求めたら人は助けしてくれるという事です。今回僕たちはなんの嫌悪

感も抱かずに手伝いをすることができました。
しかし、逆の立場だったら相手は嫌がるの
ではないかしら相手は迷惑がかかるのではな
いかしらという不安を持ち、話しかけること
はできなかつたと思います。今回の体験によ
って僕は、「必要なときは人に助けを求めて
もいい」ということを学びました。これを地
域に当てはめると、高い木に物が引っかかっ
たときに背の高い人に取りってもらう、誰かが
大怪我をしたときに電話などの連絡手段があ
る人に連絡してもらうなどです。

このように、今回の体験で僕は様々なこと
を学ぶことができました。これからは、地域
の人との触れ合いを、日々の生活の基本とし、
困っている人がいたら助け、困っているとき
は助けを求めるなど、助け合いを大切にしま
いと思っています。